

担当教員 韓 敏				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DCSa02	授業形態 演習	単位 2
キーワード 複数の人類学、フィールドワーク、民族誌		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 比較社会研究Ⅱ				
科目名称：英語 Lecture Ⅱ (Social/Cultural Anthropology)				
科目の概要：日本語 文化人類学者の思考と実践				
科目の概要：英語 Consideration and practice of cultural anthropologists				
科目の目的： 複数の人類学の歴史と研究動向を把握し、理論の成立にいたるまでの人類学者の模索の過程も学ぶことにより、学生自身の問題発見とフィールドワークの選定につなげていくことを目的とする。				
学習成果・習得する技能や知識： フィールド調査や論文執筆に必要な理論的基礎と研究手法を学ぶことが期待される。				
成績評価方法・基準： 授業における発表と議論への参加を重視する。				
授業内容： 従来人類学の教科書は、欧米の理論を中心とする傾向が強く、理論にいたるまでのプロセスを扱うものが少なかった。本コースは欧米、日本と中国などの人類学的研究を取り上げることで、人類学の全体像をより正確に把握することができる。また、世界の各地で活躍している人類学者によるフィールドワーク論と体験談を学習することにより、問題意識からフィールドの選定、現地でのやりとり、民族誌の書き方までのプロセスを分析し、人類学の研究方法を取得する。				
日程： 毎週金曜日(15:00～16:30)、第1回は4月15日（但し受講生と協議によって変更する可能性もある）				
実施場所： 大学院セミナー室				
使用言語： 日本語				
準備学習： とりあげる文献については、事前に全員が読んでおくこと。毎回一人の履修者が一つのテーマについて				

てプレゼンテーションをする。

関連科目・履修条件：

とくになし

教科書・必読書：

波平恵美子 2011『文化人類学』（カレッジ版） 第3版

参考書・その他の教材：

綾部 恒雄 2006『文化人類学 20 の理論』 中公新書

印東道子, 白川千尋, 関雄二編 2014~2015『フィールドワーク選書 1~20』 臨川書店 など

備考：

地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可